

新型コロナウイルス関連 公開情報取りまとめ  
～2020年4月14日(火) 17時現在～

在サンパウロ日本国総領事館

1 サンパウロ州

4月13日(月)～14日(火)

- 14日(火) 16時現在、州内の感染者は9371人(前日8895人)、死者は695人(同608人)。感染は州内183市で、死者は73市で確認。死者の内訳は男性409人、女性286人で、60歳以上が80.7%。入院患者数は集中治療室に1111人、一般病床に1042人と過去最多。サンタ・マジョーレ・イジエノーポリス病院、サンパウロ大学医学部附属クリニカス病院、タトゥアペ市立病院、マンダキ総合病院、サンタ・カーザ・デ・サンパウロ病院の集中治療室の病床使用率は7割以上に達している。
- 14日(火)、サンパウロ州政府は、計1億4800万リアルを投じ、新型コロナウイルス検査キット及びマスクを購入したと発表。うち韓国から130万の検査キットを8500万リアルで調達、うち72万5千キットが同日明け方にサンパウロ(ブタントン研究所)に到着した。これにより、現在1日2千件の検査能力が今後8千件に達する見込み。残り57万5千キットは4月中に到着予定。検査はブタントン研究所がコーディネートする州内34か所のラボで実施する。マスクは中国から計1800万枚を6300万リアルで調達した。うち1500万枚がサージカルマスク、300万枚がN95。州政府は中国政府との関係は良好であり、今後も引き続き協力関係を維持すると説明。
- 14日(火)、サンパウロ市は、保健省が8日(水)付で、ブラジル企業 Magnamed 社(本社サンパウロ市:C E Oは日系人のワタル・ウエダ氏)と人工呼吸器の供給に関する契約を締結した旨発表。同社の人工呼吸器6500台が8月までに供給される予定。同呼吸器の名称は「OxyMag」で、サンパウロ州研究支援財団(FAPESP)の中小企業向け支援プログラム(2006年～12年)を通じて開発されたもの。
- 14日(火)、サンパウロ州政府は緊縮財政の実施を発表(同日政令を発令)。保健・医療や治安分野を除く分野が経費削減の対象となる。
- 14日(火) 15時現在、サンパウロ市内の仮設病院の入院患者数は計130人(前日112人)。うち、パカエンブー競技場内の仮設病院では76人、アニエンビー国際展示場内の仮設病院では54人がそれぞれ入院。
- 14日(火)、サンパウロ市衛生管理局(Covisa)は、公共交通機関やタクシー、配車アプリの運転手に対し、新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的とした衛生面での予防措置の強化を改めて要請。
- 13日(月)、サンパウロ州政府は、アルコールジェル等新型コロナウイルス関連商品の不当販売価格に関する州消費者保護団体(Procon.SP)への通報件数が大幅に増え、9日(木)現在で3254件に達したと発表。

2 マット・グロソ州

4月14日(火)

- 14日(月) 正午現在、州内の感染者は138人(前日134人)、うち州都クイアバ市が75人、ロンドノーポリス市が22人、シノピ市が11人と続く。死者は4人(前日同)。入院患者は6人。なお、州都クイアバのピニェイロ市長は同日、同市では死者は確認されていないものの、市内の感染者数が一週間で67%増加し、州内でも半数以上を占める状況にあるとして、外出自粛と予防措置の徹底を改めて呼び掛けた。

3 マット・グロソ・ド・スル州

4月13日(月)～14日(火)

- 13日(月)、アザンブジャ州知事は社会的距離を遵守しない場合、ロックダウンを講じる可能性を示唆。
- 14日(月) 午前10時現在、州内の感染者は115人(前日113人)、うち州都カンポ・グランデ市が55人、トレス・ラゴアス市が11人など。死者は4人(前日同)。(了)